

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp) パクリタキセル(タキソール) 175 mg/m<sup>2</sup> 点滴静注 day 1  
 カルボプラチン(パラプラチン) AUC=5/body day1 4週間毎

パクリタキセル投与30分前にレスタミン錠10mg5錠(50mg)内服

<b>本管①</b>
生理食塩液 100mL 1 瓶

レジメンコメント1
レジメンコメント2

<b>側管①</b>	30分			
	↓	ファモチジン静注20mg	1	管
		パロノセトロン点滴静注	1	袋
		デカドロン注射液1.65m	3	管
		アロカリス点滴静注235mg	1	瓶

<b>側管②</b>	180分	インラインフィルター使用		
	↓	大塚生食注 500mL袋	1	袋
		パクリタキセル(タキソール)	mg	
		〈腫〉タキソール注射液100mg		
		〈腫〉タキソール注射液30mg		

<b>側管③</b>	60分			
	↓	大塚生食注 250mL	1	袋
		カルボプラチン	mg	
		〈腫〉パラプラチン注射液450mg		
		〈腫〉パラプラチン注射液150mg		

※参考  
 カルボプラチン投与量(mg/body)  
 =5(AUC) × ( [                      ] (GFR又は

**<実施時の注意>**

漏出時: 直ちに投与を中止し薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。

●パクリタキセル  
 0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与。  
 点滴用セット等で本剤の溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。  
 溶剤として無水エタノールを含有するため、投与前に問診により適切かどうか判断すること。

●カルボプラチン  
 アルミニウムと反応して沈殿物を形成し、活性が低下するのでアルミニウムを含む医療器具を用いないこと。本剤の投与回数を重ねるとショック、アナフィラキシーの発現頻度が高くなる傾向がある。  
 光及び熱により分解するので、直射日光や高温を避けること。  
 ポリカーボネート製の三方活栓や延長チューブ等を使用した場合、そのコネクター部分にひび割れが発生し、血液及び薬液漏れ、空気混入等の可能性があるため注意すること。

**<注意すべき副作用>**

●過敏症 ●食欲不振、吐き気 ●筋肉痛、関節痛 ●口内炎 ●手足のしびれ ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)  
 ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少 ●肝機能低下